

# 第24期 株主通信

【2021年4月1日～2022年3月31日】

証券コード:3237



## 株主の皆様へ

### ごあいさつ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第24期は、代表取締役社長としての初年度の業績を増収、増益でクローズすることができたこと、またYUMIHA OKINAWAの開業、そしてBanyan Tree Japanとの合弁会社設立のご報告ができることに心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えない中、変異株の影響を大きく受けた1年間ではありましたが、ワクチン接種の促進、治療薬の開発、政策の見直しなどもあり、現在では多くの国が国境往来を再開し、コロナ禍前と同じ条件で旅することが可能となった国が増えてきたことが、大きな希望です。日本国内でも、観光に対する需要は日に日に高まり、また近い将来回復するであろう日本へのインバウンドの潜在的需要を考慮すると、中国との太いパイプを要する当社にとっては、強力な追い風になると確信しています。

今後目指すポジションをさらに明確化し、これまでに培った専門性の高いノウハウを活かし、目標達成に向けて着実に戦略を実行し、ご支援いただいております株主の皆様のご期待に応えられますよう、役員、従業員が一丸となり、全力で取り組んでまいりますので、今後とも変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 ディグネジオ・フレドリック・レッツ

## 決算ハイライト 2022年3月期の業績報告

当社グループが属する不動産業界では、低金利環境下における良好な資金調達環境を背景として、投資家による物件取得意欲は依然高い状況にあるものの、社会全体の不確実性の高まりから、底堅く推移いたしました。

また、現在、当社が注力するホテル関連分野の市場におきましては、訪日外国人旅行者の渡航制限によりインバウンド旅行者は完全にストップしており、頼みである国内需要に関しても、一時的な回復は見せるものの、エリア、業態によって偏りがあり、安定回復の見通しは立っていないため、依然、厳しい状況が続いております。

このような状況下において、当社グループでは、投資対象とする不動産の潜在的価値を高めたうえで販売を行う「プリンシパルインベストメント事業」、物件ニーズに合った入居者管理を代行するプロパティマネジメントサービスと、不動産物件の賃貸・仲介業務及び、ホテル・宿泊施設等の運営、支援、開発等の事業を行う「ソリューション事業」、また、当社の連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデンで同施設の運営や卸売販売等を行う「その他事業」について、それぞれ注力してまいりました。

### 2022年3月期 連結業績

売上高 2,351百万円

経常利益 195百万円

営業利益

195百万円

親会社株主に帰属する  
当期純利益

156百万円

### セグメント別概況



#### プリンシパルインベストメント事業

自己勘定による不動産購入及び売却

当連結会計年度において、販売用不動産を4件売却いたしました。

売上高 1,895百万円

営業利益 521百万円



#### ソリューション事業

不動産による賃料収入、不動産管理による管理収入、不動産仲介による手数料収入、コンサルティング宿泊施設等のオペレーション、コンサルティング等

当連結会計年度における和歌山マリーナシティの売却により同施設の配当金収入及び賃料収入がなくなり、新規の建物管理の受託に取り組む一方、新たな成長路線としてホテル関連事業の推進に注力しました。

売上高 262百万円

営業損失 70百万円



#### その他事業

株式会社大多喜ハーブガーデンにおけるハーブガーデンの運営及びハーブ等の生産・販売

ハーブガーデン事業につきましては、近隣の観光施設としてお出かけ需要を取り込む施策が奏功し、売上高はコロナ前の水準を上回るほど順調に推移しました。生産卸売事業に関しては、外食業界の休業や時短営業等のほか、豪雨や急激な気温変化などによる収穫減で安定的な生産・出荷が行えない等苦戦が続きました。

売上高 200百万円

営業損失 19百万円

### 2023年3月期連結業績予想(2022年5月13日公表)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
3,102百万円	20百万円	17百万円	7百万円

# BUSINESS PLAN 2022

当社グループは、引き続き、右記の事業に注力してまいります。

事業の柱となるホテル運営事業については、Banyan Tree Japanとの合併会社設立により、より推進力を高めてまいります。また、連結子会社であるイントランス上海が保有する、中国マーケットからのインバウンド送客システムを連携させ、中国旅行客を日本のホテルに送客することにより事業間のシナジー効果を最大化し、収益の拡大を目指してまいります。



## YUMIHA OKINAWAを2022年7月に開業予定

沖縄県恩納村にある高級ヴィラタイプのホテル物件の建物賃貸借契約を締結し、YUMIHA OKINAWAとしてホテルの営業を行う特別目的会社YUMIHA沖縄合同会社への、同物件の転賃借契約を行い、当社連結子会社である株式会社アニシスホスピタリティが、本ホテルの運営を受託いたしました。

本ホテルは、沖縄本島の中でも有数のリゾートエリアである恩納村に位置し、リゾート北部の麓、ヤンバルの森に佇むヴィラタイプのホテル、客室の半数にプライベートプールが備わっております。今後、このラグジュアリーホテルを独自ブランド「YUMIHA」の第一号、「YUMIHA OKINAWA」として運営してまいります。「地元根差した地域との共存」、「人、自然、すべてに優しいホテルであること」をビジョンとし、「ゲストの皆様が大切にもてなされていると感じる時間の提供」、「ご到着時よりも、軽やかな心とカラダでご出発いただけるよう」、「ゲストの皆様のご滞在後の日々が、より彩りのあるものとなるよう」目指してまいります。



Deigo

YUMIHA  
OKINAWA

**YUMIHA OKINAWA**  
沖縄県国頭郡恩納村字山田2455-1  
4ヴィラタイプ、全17棟  
<https://yumiha.jp/okinawa/>

## Banyan Tree Japan有限会社との合併会社設立

当社連結子会社の株式会社イントランスホテルズアンドリゾーツと、Banyan Tree Holdings Ltd.の日本法人であるBanyan Tree Japan 有限会社は、合併事業契約を締結し、合併会社を設立することいたしました。設立した合併会社は、バンヤンツリー・グループのブランドホテル及びノンブランドホテルの運営を担うことで、日本国内におけるマーケットシェアを拡大してまいります。

当社グループは、創業からの不動産事業を進める一方、インバウンドビジネスの一環としてホテル関連事業を推進しておりますが、短期、中期的な目線では、コア事業となるホテル運営受託事業を重点推進しており、自社オリジナルブランドによるホテル開業を進める一方、グローバルホテルブランドと協力し、国際的なインバウンドビジネスを強化する取り組みを模索してまいりました。

一方、バンヤンツリー・グループは、スチュワードシップとウェルビーイングを主軸としつつ、今とこれからの世界を旅する人々に格別な体験を提供する、マルチブランド・ホスピタリティ・グループとして世界を牽引している独立したグループです。グループの多様なポートフォリオは、ホテル、リゾート、スパ、ギャラリー、ゴルフやレジデンスなど、次の10のグローバルブランドに渡り世界23カ国で展開しています。数々の受賞歴を誇る「Banyan Tree」を始め「Angsana」「Cassia」「Dhawa」「Laguna」に続き、新たに加わるブランド「Hommi」「Garrya」「Folio」、そしてバンヤンツリーブランドから派生した「Banyan Tree Escape」と「Banyan Tree Veya」を予定しています。バンヤンツリー・グループは、とりわけ中国で強力なブランドポジショニングを築き、アジアで非常に人気の高いグループです。日本においては、2022年6月に「ダーワ・悠洛 京都」(京都市東山区)及び「ギャリア・二条城 京都」(京都市中京区)のオープンを予定しております。

# 株式の状況・会社概要

## 株式の状況 (2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	115,200,000株
発行済株式総数	37,070,600株 (自己株式60,400株を除く)
株主数	7,953名

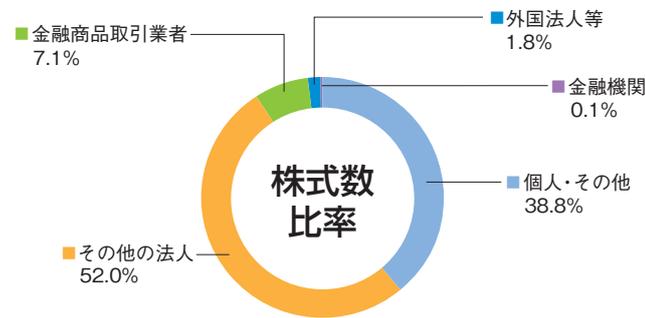
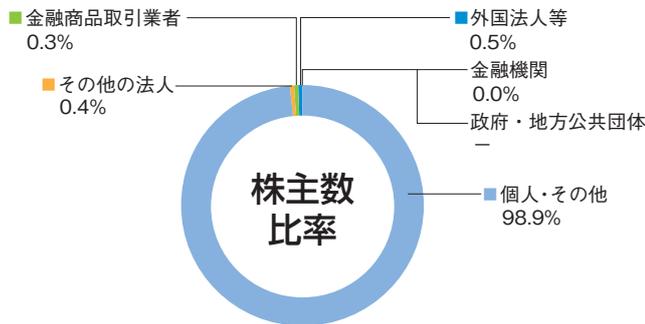
## 大株主の状況(上位10名) (2022年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
合同会社インバウンドインベストメント	18,256,000	49.25
株式会社SBI証券	940,200	2.54
祢津 聖一	795,700	2.15
株式会社エスネット	509,000	1.37
有限会社レアリア・インベストメント	446,300	1.20
楽天証券株式会社	429,800	1.16
SMBC日興証券株式会社	367,100	0.99
インタラクティブ・ブローカーズ証券株式会社	354,400	0.96
上島 規男	350,000	0.94
関 浩子	290,000	0.78

## 会社概要 (2022年6月21日現在)

商号	株式会社イントランス
代表者	ディグネジオ・フレドリック・レッツ
設立	1998年5月1日
所在地	〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目16番5号 大下ビル9階
資本金	11億3,320万円
事業内容	プリンシパルインベストメント事業 ソリューション事業 (ホテル運営事業含む) その他事業
連結子会社	株式会社大多喜ハーブガーデン 株式会社イントランスホテルズアンドリゾート 瀛創(上海)商务咨询有限公司 株式会社アニスホスピタリティ YUMIHA沖縄合同会社 ほか4社
宅地建物取引業者免許番号	東京都知事(1)第105555号
第二種金融商品取引業者登録番号	関東財務局長(金商)第1732号

## 株式分布状況



※「個人・その他」は自己株式を含んでおります。

## 役員 (2022年6月21日現在)

代表取締役社長	ディグネジオ・フレドリック・レッツ
取締役	何 同 璽
取締役(社外)	日比野 健
取締役(社外)	清水 洋一郎
取締役(社外)	仇 非
取締役(社外)	李 興
常勤監査役	青 沼 丈 二
監査役(社外)	平 田 邦 夫
監査役(社外)	上 床 竜 司

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎事業年度終了後3ヶ月以内
株主名簿管理人 (同連絡先)	みずほ信託銀行株式会社 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
公告の方法	公告掲載URL <a href="http://www.intrance.jp/ir/public.html">http://www.intrance.jp/ir/public.html</a> ただし、電子公告によることができない事故、その他やむをえない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。

## 株式会社 イントランス

本 社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目16番5号 大下ビル9階  
Tel. 03-6803-8100(代表)



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

